

令和8年度 在宅医療・介護連携室ポピー 事業計画

事業目的:在宅医療・介護の連携推進業務は、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、医療機関と介護サービス事業者などの関係機関の連携を推進することを目的とする。

仕様書1. 地域の医療・介護の資源の把握

関係機関との連携により、地域の医療機関、介護事業者等の所在地、機能等を把握し、既存情報と合わせてリスト等を作成する。作成したリスト等は、地域の医療・介護関係者や住民に向けて、ホームページへの掲載等により広く公開を行う。

① 在宅医療サービス検索システム

- ・更新作業 山形市内医療機関への発送、エール・上山市に調査協力依頼
- ・医師会ホームページへの情報入力作業、PDF 版の作成、
- ・かかりつけ医登録制度「なびい」との差別化を検討

② ポピーホームページの運営

- ・新着やブログ更新、地域資源情報やリンクの集約点検作業
- ・他機関からの周知依頼への対応

③ 当事者や介護者のための資源情報の把握

- ・在宅療養者・介護者等、当事者が集う会やサロン等の情報把握

④ その他

- ・摂食嚥下機能支援協議会 摂食嚥下マップ作成への協力（他拠点と連携して）

仕様書2. 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

切れ目のない在宅医療・介護の提供体制に向けて、相談支援や地域ケア会議、地域の医療・ケアマネジャー等介護関係者が参画する会議等を通じて、在宅医療・介護連携に関する現状の分析と課題の抽出並びに解決策等の検討を山形市と共に行う。

① 在宅医療・在宅療養・医療介護連携等の課題の抽出

- ・実数把握・各種データの把握
- ・在宅医療連携推進の会、自立支援型地域ケア会議の傍聴、拡大運営会議の意見交換等の実施
- ・研修会や住民講座のアンケート、在宅療養展示カフェや介護者交流会、地域住民の集まる場の集まる場
- ・相談など
- ・ポピーインタビューや個別ヒアリングなど
ポピーインタビュー更新（R7年度実績2回）
個別ヒアリング：各連絡会・他専門職団体・他機関、等に出向き、連携の課題など聞き取り（連絡会）・その他

② 対応策の検討

- ・山形市・基幹型地域包括と現状分析や課題抽出を行い共有・対応策を検討する
- ・山形市の交通課題と医療
- ・短期入所生活介護施設利用中の訪問看護の活用（在宅中重度者受入加算）

仕様書3. 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

高齢者が入院から退院後の在宅生活まで、切れ目のない支援を受け、安心して生活が送れるようにするため、山形市や職能団体、医療政策を担う山形県や村山保健所と連携協力しながら、地域の医療・介護関係者の理解促進と研修等による顔の見える関係づくりを行う。また、「山形市入退院支援フロー（地域版）」及び「村山地域入退院支援の手引き」を活用し、病院や医療連携室、地域の診療所等とより連携しやすい環境に向けた取組を行う。

① 拡大運営会議（在宅医療・介護関係者の協議の場）

地域課題に沿ったテーマで開催 必要に応じて企画

② 医療機関とより連携しやすい環境に向けた取組

- ・山形市入退院支援フロー（地域版）
活用状況の把握と課題点検、必要に応じた見直し、その他
地域と病院の連携状況の把握
- ・村山保健所主催「入退院調整ルール検討プロジェクト」
再開に向けた地域や村山保健所との実態把握と情報交換
- ・山形市地域医療連携拠点連絡会の開催

仕様書4. 相談支援	
地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター、住民等に対して、在宅医療、介護サービスに関する事項の相談を受け付け、必要に応じ医療関係者・介護関係者等の連携調整や相談者の意向を踏まえた関係機関の紹介等を行う。 また、相談窓口や在宅医療・介護連携室の役割について、地域住民、関係者等に周知するとともに、個々の相談事例から明らかになった在宅医療・介護の連携のポイント等をまとめた事例集を作成、活用し、関係者等のより一層の連携促進に向けた周知を行う。	① 相談窓口の開設 ・月～金 9:00～16:00（祝、12/29～1/3、8/13～15を除く） （R7年度実績 3月20日現在 108件） ・地域の支援者・住民、他地域からの相談に対応 ② 窓口の周知 ・ポピーホームページ・チラシ・ポピーホームページ二次元コード付きシール ・研修会や住民講座等による窓口の周知 ③ 自立支援型地域ケア会議、個別地域ケア会議への参加
仕様書5. 地域住民への普及啓発	
将来にわたって望む暮らしができるよう、在宅医療・介護、看取りを含む人生会議(ACP)、在宅療養等について、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、おれんじサポートチーム等と連携し、「在宅療養リーフレット」や「普及啓発動画」「やまがた人生備えの書」、及び気軽に話し合いができるツール等の普及啓発ツールを活用したフォーラムや住民講座の開催などにより、地域住民の理解の促進を図る。	① 普及啓発ツールの広報・周知・活用 ・「在宅療養リーフレット」や「人生会議・在宅療養普及啓発動画」「いっぶぐかーど」等の普及啓発ツールを活用し相談対応や住民講座の開催、周知を行う - 鳥取中部保健所からの依頼。次年度 zoom で住民啓発の状況とといっぶぐかーど作成の経過についてお話しする予定(市・山形西部包括同席) ② 関係者への教育支援や後方支援 ・地域の支援者が ACP や在宅療養を理解し、普及啓発や住民支援が行えるよう、必要に応じて情報提供・相談・研修会などを行う。 ③ 住民講座への協力や講座開催の後方支援 ・地域からの依頼に応じ、在宅療養や人生会議などの普及啓発を目的とした講座への協力や後方支援を行う（R7年度実績 3月20日現在 13件 237名参加） ④ 地域への情報発信 ・10月26日～30日 市役所エントランスホールで在宅療養展示カフェ開催 - 次回より「暮らしの保健室やまがた」が協力予定（R7年度来場者数約200名来場） ・広報やまがたに人生会議についての記事掲載(特集見開き1ページ) ⑤ 人生会議普及啓発ツール「いっぶぐかーど」を地域住民に活用いただくための検討 ・住民の活用ニーズに対応するための対応 ・地域での活動支援、他 ⑥ 在宅医療・介護推進フォーラムの開催 ・R8年6月13日開催に向けて準備中 4月1日 広報開始予定
仕様書6. 在宅医療・介護等関係者の情報共有の支援	
多職種連携ネットワークシステム「ポピーねっとやまがた」や「山形市入退院支援フロー(地域版)」、「村山地域入退院支援の手引き」の活用効果や好事例の紹介などにより、これらのツールの普及を進め、医療・介護に携わる多職種間の連携と情報共有を促進する。	① 多職種連携 SNS「ポピーねっとやまがた」 ・活用状況や MCS システム状況の把握 ・運用ルールの普及(情報の管理やマナーなど) ・事務手続きや操作などの相談支援 ・患者タイムライン構築への協力支援 ・普及啓発のための情報発信・研修など ・市医師会看取り当番医への導入支援 ② 「山形市入退院支援フロー(地域版)」と「村山地域入退院支援の手引き」 ・山形市入退院支援フローの点検・見直し ・改定版の周知

仕様書7. 在宅医療・介護関係者の研修など

地域の医療・介護関係者に対する研修や出張勉強会などの開催及び支援を行い、認知症など中重度の要介護状態や医療依存度が高い高齢者への看取りを含む支援、本人の意思を尊重した支援、在宅医療・介護連携における対応力を高め、多職種によるチーム支援の推進を図る。

① 研修会の実施

【予定】

○緩和医療専門医・指導医 神谷浩平氏による意思決定支援の研修会
全4回 6/24、7/22、9/9、10/7、 (R7年度 全4回受講者 23名)

○医療福祉研修会(済生館病院と合同) 秋ごろ

○栄養士会課題栄養ケアステーションの周知を目的とした研修会

○摂食嚥下機能支援協議会の医療介護関係者への研修会共催

※その他、ヒアリングから、各専門職や団体における連携の課題を解決するための研修を随時企画・実施

(R7年度研修会実績 2月12日現在7件 延べ332名参加)

② 研修会などの開催手段や方法の検討・対応

③ 介護系事業所向けのスキルアップ研修

・ポピー出張勉強会(摂食嚥下・服薬支援・口腔を見る目とケア) 再開予定

(R2年からR7年 コロナ禍、職員の影響で企画実績なし)

・摂食嚥下機能評価の研究事業(市医師会)における施設への支援・フォロー

④ 医療と介護の連携交流会の開催に向けた検討

(R7年度 94名参加)

仕様書8. その他必要な事業

その他、各種会議等への参加による課題把握や情報提供など、本業務の目的達成のために必要な業務を行う。

① 拡大運営会議を含む運営会議の効果的開催

・ポピーの事業と運営委員の状況に応じ実施 (R7年度2回)

② ポピーホームページの充実

③ 各種会議への参加(随時)

・「医療と介護の連携」に関する意見・情報発信を行う

④ 地域の医療や介護の課題に関する事業への協力

⑤ スタッフのスキルアップ

・相談対応力向上や在宅医療最新情報、動向を得ることを目的とした研修会への参加(担当者研修会議、インテグレーター養成講座、在宅医療連合学会等を検討)

・村山地域医療介護連携拠点との情報交換